



## CHAPTER 5

# Cisco 1805 DOCSIS ケーブル ルータの ケーブル接続手順

この章では、Cisco 1805 DOCSIS ケーブル ルータ を電源、ネットワーク、および外部装置に接続する手順について説明します。この章の内容は次のとおりです。

- 「電源の接続」(P.5-1)
- 「WAN ケーブルおよび LAN ケーブルの接続」(P.5-2)
- 「コンソール端末またはモデムへの接続」(P.5-3)

ケーブルの情報と仕様については、「[Cisco 1805 DOCSIS ケーブル ルータのケーブル情報と仕様](#)」の章を参照してください。



(注)

システムの設置、操作、修理を行う前に、『[Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1840 Routers](#)』をお読みの上、安全に関する重要情報とこのガイドに記載されている警告の意味を確認してください。

## 電源の接続



警告

インストール手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



(注)

インストールは、設置場所に適用されるすべての電気規則に適合している必要があります。

ルータは、過電流保護機構を備えた 15 A、120 VAC (10 A、240 VAC) の回路に接続します。



(注)

AC 電源の場合、入力電圧の許容限度は 85 VAC および 264 VAC です。



警告

この製品は設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護装置の定格が 15 A、120 VAC (10 A、240 VAC) を超えていないことを確認してください。ステートメント 1005

## WAN ケーブルおよび LAN ケーブルの接続

ここでは、WAN および LAN インターフェイス ケーブルの接続手順について説明します。具体的な内容は、次のとおりです。

- 「ポートおよびケーブル接続」(P.5-2)
- 「接続手順および注意事項」(P.5-3)



(注)

ルータには通常 1 本または 2 本のイーサネット ケーブルが付属しています。追加用のネットワーク接続ケーブルやトランシーバはシスコに注文できます。発注方法については、製品を購入されたシスコ代理店にお問い合わせください。ケーブルのピン割り当てについては、『[Cisco Modular Access Router Cable Specifications](#)』（オンライン文書）を参照してください。



警告

雷が発生しているときには、システムを使用したり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001

## ポートおよびケーブル接続

「表 5-1」に、Cisco 1805 DOCSIS ケーブル ルータ の一般的な WAN および LAN 接続についてまとめています。

表 5-1 WAN および LAN 接続

ポートまたは接続	ポート タイプ、 カラー <sup>1</sup>	接続先	ケーブル
ファースト イーサネット (FE)	RJ-45、イエロー	イーサネット ハブ	ルータへの接続にはクロス型 スイッチへの接続にはストレート型
E1 WAN	RJ-48C	E1 ネットワークまたは CSU/DSU	RJ-48 E1 ストレート (PBX およびその他のすべての機器に接続する場合はクロス型)
56/64-kbps CSU/DSU	8 ピン モジュール	RJ-48S インターフェイス	RJ-48 ストレート

1. ケーブルのカラー コードは、シスコ製ケーブル独自のものです。

## 接続手順および注意事項

各 WAN および LAN ケーブルをシャーシまたはインターフェイス カード上の該当するコネクタに接続します。

- コネクタに負担がかからないように、ケーブルを注意深く配置します。
- ケーブルが絡まないように、ケーブルをまとめて束ねます。
- ケーブルの配線と曲げ半径に問題がないかどうかを点検します。必要に応じて、ケーブルの位置を再調整します。
- 設置環境の条件に従ってケーブル タイを取り付けます。

ケーブルのピン割り当てについては、『[Cisco Modular Access Router Cable Specifications](#)』を参照してください。

## コンソール端末またはモデムへの接続

ご使用のルータには、非同期シリアル コンソール ポートと AUX ポートが付いています。これらのポートにより、ローカル（コンソール端末または PC を使用）またはリモート（モデムを使用）でルータに管理アクセスを行うことができます。

コンソール端末、PC、またはモデムにルータを接続できるように、シスコでは次のケーブルとアダプタを提供しています。

- コンソール ケーブル（RJ-45/DB-9、ブルー）× 1
- モデム アダプタ（DB-9/DB-25）× 1

ここでは、コンソール端末または PC をコンソール ポートに接続する手順、およびモデムを AUX ポートに接続する手順について説明します。

ケーブルのピン割り当てについては、『[Cisco Modular Access Router Cable Specifications](#)』を参照してください。

## コンソール ポートとの接続

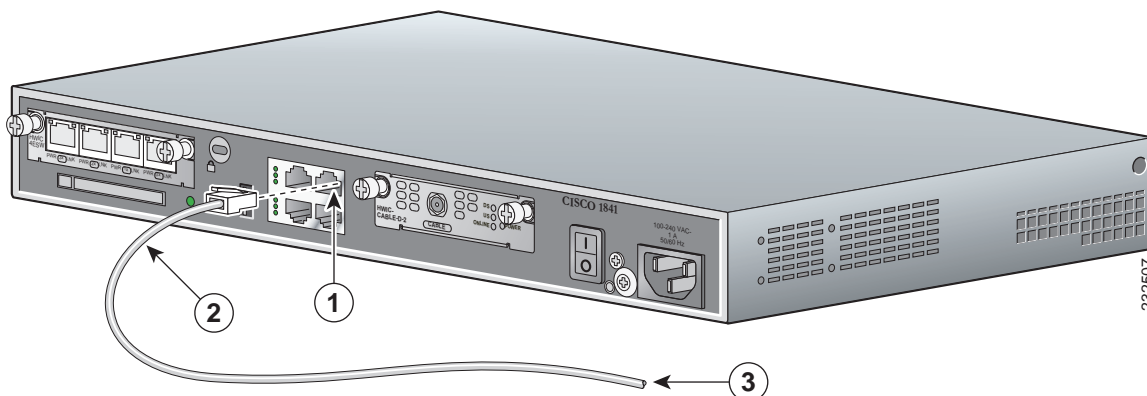
Cisco IOS コマンドライン インターフェイス (CLI) によりルータを設定するには、ルータ コンソール ポートを端末またはパソコンに接続します。この接続に必要なケーブルはルータに付属しています。

パソコンには HyperTerminal または同様のターミナル エミュレーション ソフトウェアがインストールされている必要があります。ソフトウェアには 9600 ボー、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビット、モード制御なしの各パラメータを設定します。Cisco IOS ソフトウェアによるルータの設定の詳細については、Cisco 1800 シリーズのルータ ソフトウェア設定に関するマニュアルを参照してください。

ルータを端末またはパソコンに接続するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** 水色のコンソール ケーブルの RJ-45 コネクタがある側の端をルータの水色のコンソール ポートに接続します (図 5-1 を参照)。

図 5-1 ルータへのコンソール ケーブルの接続



1	水色のコンソール ポート	3	パソコンまたは端末へ
2	水色のコンソール ケーブル		

- ステップ 2** ケーブルの DB-9 コネクタがある側の端を端末またはパソコンに接続します。端末または PC に DB-9 コネクタに対応していないコンソール ポートがある場合、所定のアダプタをポートに取り付ける必要があります (DB-9/DB-25 アダプタはルータに付属しています)。



**(注)** モード制御はコンソール ポート上ではできないため、モデムをコンソール ポートに接続することは推奨されません。モデムは必ず AUX ポートに接続してください。

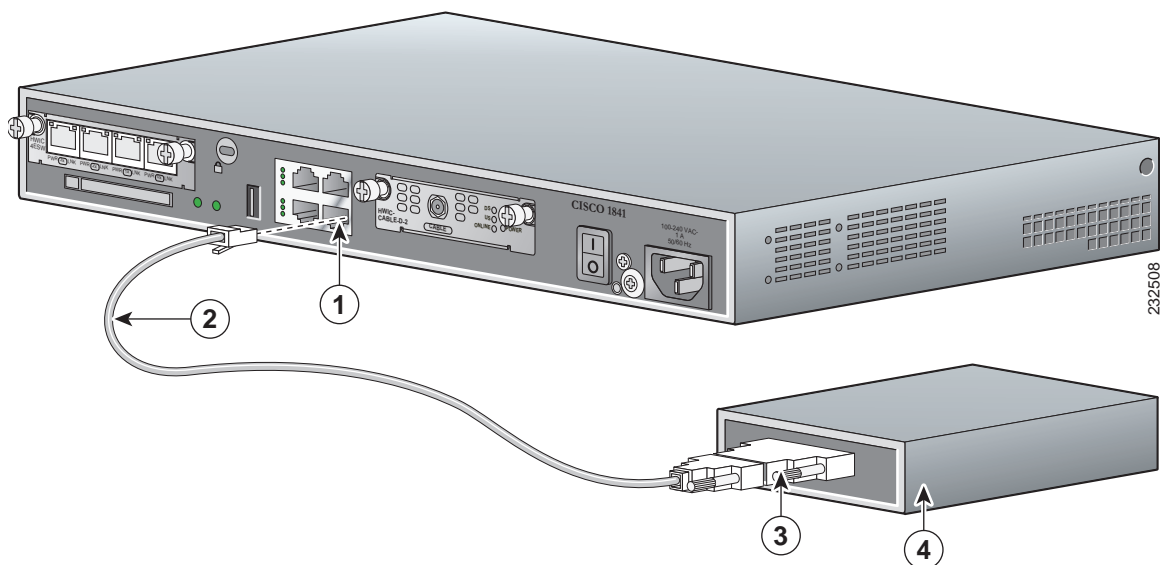
## AUX ポートへの接続

モデムが AUX ポートに接続されている場合、リモート ユーザはルータにダイヤルインしてルータを設定できます。ルータ アクセサリ キットに同梱されていた水色のコンソール ケーブルと DB-9/DB-25 コネクタ アダプタを使用します。

モデムをルータに接続するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** アダプタ ケーブルの RJ-45 側の端を、ルータにある黒色の AUX ポートに接続します (図 5-2 を参照)。

図 5-2 ルータへのモデムの接続



1	AUX ポート (RJ-45)	3	DB-9/DB-25 モデム アダプタ
2	水色のコンソール ケーブル	4	モデム

- ステップ 2** コンソール ケーブルの DB-9 側の端を、モデム アダプタの DB-9 側の端に接続します。
- ステップ 3** モデム アダプタの DB-25 側の端をモデムに接続します。
- ステップ 4** モデムとルータの AUX ポートが、同じ伝送速度（最大 115200 bps までサポート）で、Data Carrier Detect (DCD; データ キャリア検知) と Data Terminal Ready (DTR; データ端末動作可能) 操作が可能なモード制御に設定されていることを確認してください。

■ コンソール端末またはモデムへの接続